

上田市教育委員会 3 月定例会会議録

1 日 時

平成 29 年 3 月 14 日（火） 午後 3 時から午後 4 時 45 分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ 5 階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	小 林 一 雄
教育長職務代理者	城 下 敦 子
委 員	寺 島 滋
委 員	北 沢 秀 雄
委 員	平 田 利 江 子

○ 説 明 員

中村次長、浪方教育参事、小野沢教育総務課長、小井戸学校教育課長、宮崎人権同和教育政策幹、浅野文化振興課長、滝沢スポーツ推進課長、丸子地域教育事務所係長、清水真田地域教育事務所長、清住武石地域教育事務所長、村山第一学校給食センター所長、竜野中央公民館長、倉澤上野が丘公民館長、大滝川西公民館長、倉澤上田博物館長

1 あいさつ

2 〈協議事項〉

(1) 組織改正に伴う例規改正について（教育総務課）

○ 資料1により小野沢教育総務課長説明（要旨）

市長部局への文化行政の移管に伴い、教育委員会が関係する規則等の改正を行うものである。改正の内容として、上田市文化会館、信州国際音楽村の管理規則廃止と上田市教育委員会組織規則の生涯学習課を生涯学習・文化財課に改める。上田市教育委員会の職員の勤務時間等に関する規定で、勤務時間の特例を定めてある上田文化会館、丸子文化会館を削除する。公印規定で上田文化会館長印を廃止する。文化振興課を生涯学習・文化財課に改める。なお、施行日は、平成29年4月1日からである。

○ 全委員 了承

(2) 上田市立小・中学校職員服務規程の一部改正について（教育総務課）

○ 資料2により小野沢教育総務課長説明（要旨）

長野県において職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正が行われた。それに合わせて改正するものである。改正の内容であるが、介護休暇をこれまで1日単位での取得であったものを半日単位での取得を可能とする。また、育児休業法の対象となる子の範囲の拡大などである。施行日は、告示の日からである。

○ 全委員 了承

(3) 上田市給付型奨学金支給要綱の一部改正について（教育総務課）

○ 資料3により小野沢教育総務課長説明（要旨）

今年度4月1日から新たに開始した、高校生を対象とした給付型奨学金制度について、県で国に準じた金額の引き上げに伴い、上田市においても年額59,500円から6万円に引き上げ支援の充実を図る。施行日は平成29年4月1日からである。

○ 全委員 了承

(4) 教育行政評価及び目標管理について（教育総務課）

○ 資料4について小野沢教育総務課長説明（要旨）

法律に基づき事業評価を行うよう義務付けられているものである。今年度の計画と実施内容、評価、展開についてまとまったので説明させていただきたい。

・ 1-①について小井戸学校教育課長説明

事業名は、学力の定着・向上「(仮称)私の家庭学習ノート」作成である。評価はC評価である。平成29年度から全ての小中学校の活用を目指していたが、今回、原案を作成し29年度については小学校8校、中学校3校で試験導入ということで、課題等を検証し整理した中で30年度から本格実施に入りたいということである。

・ 1-②について小井戸学校教育課長説明

事業名は、英語教科化への対応とコミュニケーション能力の充実である。評価はC評価である。学習指導要領の今後の動向がなかなか見えてこない中で、英語教育推進計画を作成するという目標を掲げていた。現在、策定中という状況でありまだ完成していない。この計画については、来年度の中で策定していきたいと考えている。課題等は、来年度、時間確保という部分で年間35時間の時間数が増える。このような部分で時間確保についても、校長会等で協議しながらどういう時間が確保できるのか考えていきたい。

・ 1-③について小井戸学校教育課長説明

事業名は、特別な支援を要する児童生徒への支援である。タブレットパソコンを導入した支援で、評価はA評価である。予定していた小学校8校、中学校3校について、計画通りの数の配置ができた。その中で、「自信を深めた」、「学習意欲が増した」という報告がきている。

・ 1-④について小井戸学校教育課長説明

事業名は、地域とともにある学校づくりである。評価はA評価である。信州型コミュニティスクールの導入で、全校で導入ができた。今後も達成できたということではなく、さらにあらためて充実、継続的な活動ということを考えていきたい。

・ 1-⑥について小井戸学校教育課長説明

事業名は、放課後児童対策の充実である。評価はB評価である。「学童保育所トットの家」については、2月中に引っ越しも終わり完成した。補助金を活用し、放課後児童施設の支援員の給料等の処遇改善については、状況の変化を見ながらということもあり辛目の評価である。こういった状況についても今後考えていきたい。それから使用料についての改正の部分は、今後も考えていかなければならない。

○ 質疑

城下委員

家庭学習ノートの見本があれば拝見したい。また、今後の課題で29年度に試行し、1年やったからといってすぐには学力の定着向上に直結するとは考えられない。そういったときに何をもって、何を良しとして開始するのか。

小井戸学校教育課長

本人の計画、振り返り、家庭からの保護者の感想を記入する欄が学年によって違う。そういった部分の内容の書き方で小学校1・2年生用と3・4年、5・6年と中学と学年別に種類がある。中身の構成等、使い勝手も含め評価をいただき半年ぐらいで検証していかなければならないが、先生方のご意見も当然必要であり保護者のご意見もいただく中で、来年度に向けてこれを改良していきたいという見直しをかけていきたい。

小林教育長

これは、保護者も一緒になって家庭学習に加わるというのが今までのものとは大きな違いである。

小井戸学校教育課長

あとは、振り返りという部分がある。

北沢委員

学力の定着・向上、そして英語教科化の評価はCになっているが、Cだからといって問題に感じることはない。原因は、家庭学習ノートについては丁寧なより良いものを作成したいと考えているから遅れているということであり、また英語の教科化についても文科省からきちんとした指針や方向が出ているわけではない。これについても致し方がない。分かる範囲でやっていることである。むしろ良くやっていたのではないかと思う。

城下委員

地域とともにある学校づくりで、学校ホームページのアクセス数は分かるのか。

小井戸学校教育課長

今すぐわかる数字はないが、情報担当のほうでカウントしている。

○全委員 了承

・ 1-⑤について小野沢教育総務課長説明

事業名は食育の推進・充実に向けた環境の整備で評価はCである。計画は27年度に教育委員会で決定した「今後の学校給食運営方針」を具体化するための検討会議を組織し、施設及び運用方法について検討を進めるということである。具体的な取り組みとしては、学校給食検討会議を今年度立ち上げ、現在まで計7回の検討を行い、先進地視察を2回実施した。加えて新しい給食センターの建設候補地についていくつか調査をし、関係機関と進めているところである。今後の課題として、具体的な対応、方針について引き続き検討する。実際には、建設候補地の選定をさらに進める。そして学校給食の施設の整備及び運営方針について検討を進める。

・ 2-①について小野沢教育総務課長説明

事業名は上田市公共施設マネジメント基本方針策定に基づく学校施設のあり方の検討である。評価はCである。上田市が策定した公共施設マネジメント基本方針に基づき、少子高齢化の進行に伴う教育環境の整備、学校施設の適正規模・適正配置の検討である。具体的な取り組みとしては、学校施設の現状把握を行った。県主催の学校施設長寿命化研修会に担当職員が出席し、全国の動向・事例について学んだ。行政改革推進室で進めている「公共施設カルテ」という新たに各施設ごとの詳しい評価を各学校について作成を進めている。カルテに基づき今後の学校施設のあり方、統廃合を含めた方針を決定する必要がある。本件については、次年度から上田市学校教育のあり方検討会という組織を立ち上げ、教育のあり方、今後の方向性を踏まえた上での施設整備を検討していく。

・ 2-②について小野沢教育総務課長説明

事業名は小中学校施設の耐震化事業の計画的な推進で評価はBである。今年度においては、校舎・屋内運動場100%、非構造部材100%の耐震化を目指すということである。具体的な取り組みとして、本原小、三中、四中、屋内運動場の非構造部材耐震化工事ですべて完了している。今後の展開として、耐震化については完了したわけであるが施設の老朽化という問題が残っている。これについても、今後の小中学校のあり方を検討していく中で、施設については検討してまいりたい。

・ 2-③について小野沢教育総務課長説明

事業名は小中学校施設・設備の計画的な改修と日常的な営繕の充実で評価はBである。目標としては学校との連絡を密にし、安全で快適な教育環境の整備を図る。実施内容としては、今年度については、小学校シャワー施設設置工事ということで6校に設置した。合わせて小中学校の営繕、丸子中央小学校の防火扉改修事業を実施した。今後、営繕の実施にあたっては、これまでの対症療法的な取り組みから、予防保全的な取り組みへの転換を図り、効率的な営繕に努めてまいりたい。

○ 質疑

城下委員

6ページの食育のところで、学校給食検討会議や先進地視察の内容はどのようなものか。

小野沢教育総務課長

学校給食検討会議については、構成メンバーは、教育総務課の担当職員、学校教育課長をはじめ担当職員、栄養士と、第一、第二、丸子学校給食センターのそれぞれの所長、栄養士、現場の担当係長で構成されている。会議の内容については、今後の学校給食のあり方ということで、統合したセンターというところと、これからも手作りのおいしい給食、現在の給食を実施していくというような方向性を共有する中で、具体的な食器の選定から始まり、どんな種類、大きさの食器を使うのか、そこから清掃用の洗浄機の主要が決まってくる。また、手切りとなるとそれなりのスペースが必要になる。それからアレルギー対応としてどんな対応をしていくのか。現在、丸子では、除去食プラス代替食という形で対応している。新しいセンターではどういう形でやっていくのか、どういった人員体制でやっていくのか、そういった検討を7回行った。先進地視察については、千葉県鎌ヶ谷市と長野市の第四給食センターである。鎌ヶ谷市はおよそ9,000食の小中の給食を作っている。運営はPFIということで民間委託である。施設の取得から含めて民間が行っている。そちらについては、比較的コンパクトなつくりの施設に加え、見学スペースが充実している。第四センターについては、現在上田市が計画している統合センターに一番近いプランである。小中それぞれ同じ建物のなかでまったく別に仕切られているスペースの中でやっている。動線も非常に短いコンパクトな形状になっている。実際、調理場に入らせていただきいろいろな視点から現実的な中身をいろいろと考えることができた。

○全委員 了承

・3-①について浅野文化振興課長説明

事業名は市民や文化団体との連携・協働による文化事業の推進と人材育成の充実である。評価はBである。市民団体が主体となり、市民協働により事業が開催され、多くの市民の方の参加をいただき文化芸術の振興が図られた。また、子どもたちが文化芸術活動に取り組むための支援や文化芸術に触れる機会の創出が図られ、子どもたちからも事業への高い評価を得られた。

・3-②について浅野文化振興課長説明

事業名は史跡等整備推進と文化財の保護と活用で評価はBである。今後の対応としては、史跡上田城跡では、眞田神社社務所跡の発掘調査を実施するとともに県宝西櫓の国指定文化財への格上げについて協議を進める。また、文化財の活用について「文化財de文化祭」事業について積極的に取り組んでいきたい。

- ・ 3－③について浅野文化振興課長説明

事業名は郷土の文化・歴史、偉人の業績等を知る機会の創出である。評価はBである。目標達成状況の中で、「ふるさと上田人物伝」の冊子を配布したとあるが、まだ配布しておらず3月末に配布する予定である。今後、社会教育機関である博物館、公民館、図書館でこのような事業を積極的に展開していく。
- ・ 3－④について浅野文化振興課長説明

事業名は「上田市歴史文化基本構想」の策定事業である。評価はBである。この事業は今年度から3年間にわたって継続して行われる事業で、今年度は初年度になる。具体的な取り組みとして、調査指導者や協力コンサルタント会社を選定したうえで調査に入り、現在のところ調査対象の30%を終了した。今後の対応になるが、29年度は調査の継続とともに、基本構想素案作成のための策定委員会を組織して構想案の検討を進める。
- ・ 4－①について小林生涯学習課長説明

事業名は社会教育施設の計画的な整備について評価はBである。西部公民館の建設と神川地区拠点施設の整備、上田図書館基本構想の策定を進める。西部公民館については、3月中に建物が完成する。神川地区については、土地の購入もあり来年度建設着手であり、図書館の整備についても来年度に策定という形になる。
- ・ 4－②について宮崎人権同和教育政策幹

事業名は人権同和教育・啓発の推進である。評価はBである。内容については、研修会等実施した結果、最終的な数字は出ていないが36,000人の数値目標をクリアできた。また、参加者数にとらわれることなく人権同和教育を推進するための各種団体や地域のリーダーとなるべく人材の育成目的とした担当者研修会に取り組んだところである。課題としては、研修会に多くの人に出迎えていただき、より人権意識が高まるよう今後も継続して取り組んでいきたいと考えている。
- ・ 5－①について滝沢スポーツ推進課長説明

事業名は体育施設使用料の統一である。評価はBである。合併時、合併調整項目であった体育施設使用料統一を図るということである。そのための資料を集め準備をし、12月の市議会定例会に上程した。それについて今年に入り周知を図った。今後についてはチラシ配布やホームページの閲覧を促し、新使用料の定着に努める。
- ・ 5－②について滝沢スポーツ推進課長説明

事業名はスポーツ施設整備の推進である。評価はBである。基本構想（案）について公共施設マネジメント基本方針との整合を図り、関係団体と協議をして策定する。内部関係部署との協議の中で少し調整があり年度内の完成ではないのでCに近い評価でもある。今後については、基本構想により方向性を示し、施設の整備計画を策定していく。
- ・ 5－③について滝沢スポーツ推進課長説明

事業名は市民のスポーツへの関心や参加意欲の促進についてである。評価はBである。各種イベント教室の開催、情報発信、大会出場者の支援等である。夢の教室については、昨年より1校増えた。また10周年記念事業としてママさんバレーボールなどのイベントも開催

した。

○ 質疑

寺島委員

学力の定着・向上のところについて、教育支援プランの中でも特に最重要として位置付けているのが学力の定着・向上だと思う。特にこの項目については、やるべきことがたくさんあるが、評価シートでは、家庭学習ノートの作成の有無だけが学力の向上だというような書き方になってしまっている。ほかにも学力向上・定着のために実用的にやっていることはたくさんあり、それぞれどのような成果があるのかということを確認に記載しなければ、上田市の学力の定着・向上は家庭学習ノートを作成するだけなのか、家庭学習ノートについてどうだったのかという評価だけになってしまう。学力の定着・向上はもっと大きな問題である。事務局でも学校現場でも具体的にはいろいろ取り組んでいると思うが、もう少し掘り下げたかたちでの評価がないと、この項目については今年度はともかくとして少し違和感がある。

小井戸学校教育課長

今年度は計画で終わっている。実際は来年度から活用した結果である。結果についての記述、検証だと思う。

寺島委員

家庭学習ノートについてはこれでもよいのだが、学力向上は家庭学習ノートだけではない。この項目は最重要であり、ほかにもやるべき策がたくさんあると思うが、それが何も記述されていない。計画の中では細かく盛り込めないかもしれないが、学力の定着・向上における主な施策を付記するとか、取り組んでいるものに対して成果はどうかということが評価として記述されていなければ、ただ家庭学習ノートを作成すればそれでよいのか、本気で学力向上に取り組んでいるのか、という視点で疑問に感じる。

小林教育長

特に上田市の場合は、他の市町村に比べて一番しっかりやっているのは、学校から委員が出てきて学力向上についての会議を行っていることである。それから評価テストをしっかりやって分析をきちんとやっている。

寺島委員

これはこれでよい。ただし、通年で取り組んでいることや、その成果についても付記された方がよいのではないかと。

中村教育次長

家庭学習ノートを作成するのが目標ではなく、学力向上するために作成しているということである。今年度は目標を立ててしまった。来年度、このあと説明するものもそうなるしまっているが目標の立て方を変えさせていただき、手段として家庭学習ノートをどうするか検討させていただきたい。

寺島委員

細かく全ての項目を挙げるということではなく、主な学力向上のために取り組んでいる施策を挙げてほしいと思う。

城下委員

書き方の問題である。この流れでずっとやってきている。ここに収めようとするが無理がある。学力向上の一番大事なところで昨年までは小中連携事業のことが入っていた。だからといって28年度に小中連携事業をやっていないわけではない。その辺を見られるようにこれを仕立て上げるとすると今までの状態では拾い上げられない。シートの作り方を変えるか、あくまでもこれはこれでやっているいろいろな事業の中の一部をピックアップして評価してもらっているというスタンスで考えればよいか。

中村教育次長

すべてに対して継続性がある。当然、前年度の結果を踏まえて来年度どうするかということである。家庭学習ノートを作成するのが目的ではなく、何のためにやるのかということもある。小中連携は昨年までやっていて、今年はその家庭学習ノートが一覧の重点となったことは間違いない。書き方としては、目標として家庭学習ノートを作成することではなく、違う言い方にするとかそのために何か一つの策として家庭学習ノートをどうするかという表記になるかと思う。ただ、あまり抽象的になってしまうと個別の重点目標にならなくなってしまふ。その中身については来年度以降考えさせていただきたい。

寺島委員

ここは特に大きな項目なので、いろいろ取り組んでいる施策を挙げておいた方が、外目にもしっかりやっているのだということが見えてよいと思う。

小井戸学校教育課長

今のような主な項目をあげるのと、支援プランの個々の取り組みがあった。これはまた具体的にいろいろなものが出てくる。これは詳しい資料で照会するという事でこちらには项目的な部分を載せるようにしたい。

寺島委員

当初に立てた計画があるので、目標に対してどうかというところのような書き方になってしまう。ある程度はやむを得ないと思うが、そうではないことも、学校教育課以外のほかの課にしても、年度の中で目標には記載していない項目であっても、そのことについて特記すべきことがあれば、それはやはりどこかに記載してほしい。年度初めに決めたことが全てではない。そのような項目があれば、別の成果として評価してもよいのではないかと思う。

○全委員 了承

○資料4-2、4-3により小野沢教育総務課長説明（要旨）

上田市の目標管理シートの形で例年、市長と教育長で協議し、まとめて管理を行っているものである。内容的には先ほど協議していただいた目標管理とリンクしている。続いて4-3の資料であるが、これは平成29年度の部局別目標管理のそれぞれの目標ということで作成し、提案いただくものである。これについて、担当課から説明させていただきたい。

- ・「上田市教育支援プラン」の推進について小井戸学校教育課長説明

学力の定着・向上については、来年度の中では試行的な活用を始めていきたい。次に英語教育の推進ということで具体的に学習指導要領が出た中で、今後推進計画を来年度中に策定する。タブレットパソコンの導入はこれも年次計画で予定している計画数を学校数について順次導入していく。放課後児童対策の充実については、職員の処遇改善について国の補助金を活用した事業を実施していきたい。

④について小野沢教育総務課長説明

食育の推進・充実に向けた環境の整備ということで、引き続き内部組織で検討させていただきたい。

- ・学校施設のあり方の検討と計画的な改築・改修による教育環境の整備について小野沢教育総務課長説明

課題については、すでに耐震化を進めてきたが市内の小中学校の老朽化が進んでいる。計画的な施設の改修、改善が必要である。あわせて新たに減少する児童・生徒数を見込んだ公共施設マネジメント基本方針を考えた適正規模、適正配置の検討が必要になる。そうしたことから目標として学校施設のあり方の検討があげられる。これは来年度いっぱいまでに取り組みたい。数値目標は学校施設の適正規模、適正配置の検討基礎となる学校施設管理台帳の作成ということでそれぞれの小中学校について精査していきたい。次に継続事業となっている川西小、本原小、三中、四中のそれぞれの外構プール工事をそれぞれ期限までに竣工を目指す。また、小学校トイレの男女別化で、北小、神科小、南小の低学年用トイレを国の補助金に基づいて男女別化を図っていきたい。

- ・文化遺産の継承と活用について浅野文化振興課長説明

史跡等整備推進と文化財の保護と活用について、文化財の調査と指定をし、史跡上田城跡復元整備事業などを数値目標とし29年度も継続していきたい。次に郷土の文化・歴史、偉人の業績等を知る機会の創出ということで、郷土の文化・歴史や偉人の業績をテーマとした特別展及び講座の開催、郷土の文化・歴史に係る資料の調査研究をやっていきたい。三つ目に上田市歴史文化基本構想の策定ということで今回で2年目になる。策定委員会の開催を行っていくことと、文化財の現地調査も引き続き行っていく。

- ・生涯学習の推進による地域の教育力の醸成について小林生涯学習課長説明

社会教育施設の計画的な整備ということで、西部公民館の建替推進で来年度中に竣工する。次に神川地区拠点施設の整備促進ということで、保育園と公民館が複合した施設の建設に着手し、30年度の竣工を目指す。上田図書館の整備に向けた検討については、図書館基本構想を策定する。地域と連携した学校を支援する取組の充実については、地域が学校を支援する取組みの周知、広報ということで、コーディネーター用のマニュアルを作成し、周知チラシを配布する。コーディネーターの充実では、研修会等を開催し、ボランティア保険に加入する。ボランティア、コーディネーターのネットワーク作りでは、来年度、統括コーディネーターを生涯学習課に配置する。

③について宮崎人権同和教育政策幹説明

人権同和教育・啓発の推進については、内容については、28年度と同様である。数値目標については、若干増加させていただいた。

- ・生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備について滝沢スポーツ推進課長説明

来年度、取組項目としてスポーツ施設整備の推進ということで、スポーツ施設建築物の長寿命化計画書の作成であるが、こちらについては期間・期限のところは29年12月までということであるが、年内は厳しい状況なので平成30年の2月までということでは修正したい。スポーツ施設整備計画書の策定では、長寿命化計画書が整備計画書の基礎資料となっているが、年度内の策定は厳しい状況である。整備計画書の検討ということで修正したい。次に、市民のスポーツへの関心や参加意欲の促進及び生涯スポーツ社会実現のための施策では、今年度と同じような内容である。情報発信、競技力の向上などである。総合型地域スポーツクラブの活動支援は、健康づくりイベントの開催に力を入れていきたい。市内のスポーツクラブの中での連携も強化した中で協働イベントを開催できればと考えている。

○ 質疑

城下委員

家庭学習ノートであるが、数値目標のところでは平成30年度からの全小学校を括弧書きで中学年以上としてある。そうすると、29年度は試行で小学校の低学年も使ってもらうわけであるが、30年度からは中学年以上の活用を目指すということか。

小井戸学校教育課長

1年生、2年生はまだ早いのかなという思いもある。試行はさせていただきたいとは思っている。29年度は全部作成する予定でいる。実際、30年度からどうするかというところで、検証を含めてということで微妙なところがある。いきなり1年生から入れるのかというところで括弧書きにした。その辺も検討材料ということではっきり決まったわけではない。一応、様子を見て考えたいということで括弧書きにした。

城下委員

食育のところ、給食施設の整備に向けた検討ということで目標が、内部検討組織において、施設及び運用方法について検討を進めるとある。これが目標だとの水準を目標にしているのか中身が分からない。もう少し具体的に記載していただくほうが最後の年度末について評価もしやすいのではないか。

小野沢教育総務課長

もう少し具体的に書くとなると、平成29年度内に用地を選定し、給食の運営形態の基本仕様を固めるということになる。そこが微妙なところであり、まずは予算的な話もある。用地の取得についても慎重に進める必要があり、具体的な目標を書こうと思えば書けるが、書けない部分もあるということで非常に抽象的な目標の立て方で申し訳ないと思う。

城下委員

着実に進めていただきたいという思いがある。よろしくお願ひしたい。

平田委員

多岐にわたる内容でみなさんが努力されたことがありこの重点目標を立てられている。まづお願いであるが、特別な支援を要する児童生徒の支援のところ、発達障害などでご苦労されているご家族が多い。一人ひとりにタブレット、パソコンを導入するのは大切なことでこれからも力を入れていただきたい事業である。幼児期からの支援が大事であり、小学1年生からタブレットが使える、中学へ行っても切れ目のない支援が必要である。全員にいき

わたる状況ではないと思うが検討していただければと思う。質問であるが、2ページの小中学校の計画的な改築・改修で、浦里小学校の理科室の件で前回、予算が取れるのではないかというお話を伺った。ここは目標に入っていないのか。

小野沢教育総務課長

ここには直接記載はしていない。浦里小学校の特別教室と理科室については新年度の当初予算で認められた。総務文教委員会のなかでいろいろご意見をいただき建設させていただく方向となった。具体的には記載していないが来年度予定している。

平田委員

4ページ目の人権同和教育・啓発の推進で、2018年度から道徳の教科化が順次進められていくこともあり取り組んでいかなければいけない課題であるが、あまり長い間システム的なものは変わっていないような気がする。学校や会社、公民館で行うものは参加率が高いと思うが、各自治会などで開催されている活動については、今までやっているから、知っているからという部分があり参加される人数も少ない。講師の先生にも申し訳ないという思いもある。また、延べ人数ということで記載されているが、いろいろな知り合いがいて、同じような形の講演会に何度も出ている方も多くいらっしゃる。そこをまた精査しつつ進めていただきたい。

宮崎人権同和教育政策幹

人数だけではなくいろいろな形で趣向を変えながら魅力あるものをして、いろいろな人に来ていただきたいというのが一番の狙いである。特に公民館でやっている自治会懇談会では、自治会でも人権教育について考えるという取り組みをやっている。そこも非常に参加率が悪い。自治会の役員しか来てくれないというところもあるが、継続してやっていることによって自治会の役員も毎年変わってくる。その人たちが交代で出ていただき、その人たちから少しずつ広がれば良いと思う。大勢の方に来ていただき聞いてもらいたいというのが狙いである。魅力あるものにし、多くの人に自ら進んで出ていただけるようなものになるように工夫したい。

○全委員 了承

(5) 上田市立小中学校の通学区域に関する規則の一部改正について（学校教育課）

○資料5により小井戸学校教育課長説明（要旨）

旧上田市が自治会単位、旧丸子町、旧真田町及び旧武石村は大字単位で小学校区を定めているというのが今までの大きな枠組みである。その中で丸子については同じ大字の中でも自治会が違うというような場所がある。そのような場所は地番表示でやってきた経過がある。今年の1月1日付けで「長瀬3629番地の14」が属する自治会が「下丸子」から「上長瀬」に変更される。これに伴い同地番の就学指定校を丸子北小学校に変更する。

○質疑

北沢委員

現在、当該する児童はいるのか。

小井戸学校教育課長

4月から来入児として考えているなかで、そういったことが起きてきたということである。

○全委員 了承

(6) 上田市学校運営協議会を置く学校の指定について（学校教育課）

○資料6により小井戸学校教育課長説明（要旨）

上田市学校運営協議会規則第3条の規定により、浦里小学校と川西小学校を学校運営協議会を置く学校（コミュニティ・スクール）として指定する。期間については、29年度から32年度の3年間ということである。浦里小学校は、平成23年度から6年間という経過がある。また、川西小については、平成26年度から3年間、コミュニティスクールとして指定してきた。平成29年度から3年間、引き続き上田市のコミュニティスクールとして運営していきたいと考えている。

○質疑

小林教育長

3年はどこで決まるのか。

中村教育次長

当時、3年がいいか4年がいいかという議論の中で3年が妥当ではないかということで、法律的なものは何もない。4年では長すぎるのでとりあえず3年でやってみようということで始まったと思われる。

小林教育長

慣例でやってきているということで、今回も3年で指定したということでよいか。

中村教育次長

上田市の規則上、3年で決まっている。

○全委員 了承

(7) 浦里小学校及び川西小学校学校運営協議会委員の任命について（学校教育課）

○資料7により小井戸学校教育課長説明（要旨）

上田市学校運営協議会規則第6条第2項の規定により、浦里小学校と川西小学校学校運営協議会の委員8名ずつを任命したい。期数については、任期1年ということである。新規の方は浦里小では5人、川西小では3人入っている。

○質疑

小林教育長

新規の方はこういった形で任命されるのか。

小井戸学校教育課長

主に学校のPTAの役員の方や自治会長、元教員の方などにあらたにお願いをした。

小林教育長

学校と相談しながら決定したということによいか。

小井戸学校教育課長

そうである。

○全委員 了承

(8) 上田市放課後児童健全育成事業運営費補助金交付要綱の一部改正について（学校教育課）

○資料8により小井戸学校教育課長説明（要旨）

上田市が直営でやっている放課後児童クラブではなく、放課後児童健全育成事業を行っている民間事業者に対して補助金を支給するというものである。これについては、国・県・市と3分の1ずつを補助する。来年度から国の補助要綱が変わる。それに伴い、子どもの人数に対する基本的な補助の金額であるとか、対象日数、対象時間、障害児を受け入れている加算、こういったものに対して基本額が国から示される。国の要綱改正に伴い、それに上田市も合わせるということで補助額の改定をしたい。施行日については、平成29年4月1日を予定している。補助対象団体は、みのり保育園で類似事業として、上田市の芙蓉保育園と西丘保育園が実施している。

○全委員 了承

(9) 上田市文化財保護審議会委員の任命について（文化振興課）

○資料9により浅野文化振興課長説明（要旨）

文化財保護法第190条の規定及び上田市文化財保護条例第38条の規定により、上田市文化財保護審議会委員の7名を任命したい。主な任務については、教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する事項について調査審議し、並びにこれらの事項に関して教育委員会に答申する。任期は、平成29年4月1日から平成31年3月31日までの2年間である。

○全委員 了承

(10) 上田市博物館協議会委員の委嘱について（市立博物館）

○資料10により倉澤上田市立博物館長説明（要旨）

博物館法第20条及び上田市博物館条例第12条の規定により、上田市博物館協議会委員を委嘱したい。団体推薦5名、個人依頼4名、公募1名である。任期は平成29年4月1日から平成31年3月31日の2年間である。

○全委員 了承

3 〈報告事項〉

(1) 平成28年度 教育大綱の分野別施策の進捗状況（教育総務課）

○ 資料 1 1 により小野沢教育総務課長説明（要旨）

第 3 回の総合教育会議が 3 月 2 7 日に開催される。資料を提出する関係で、第 2 回の総合教育会議でお示ししたその後の状況も踏まえ、次年度以降の取組を記載した。それぞれ担当課からご説明したい。

1 学力の定着・向上について小井戸学校教育課長説明

生活学習ノート「紡ぐ」の統一様式を作成した。取組状況では、来年度の試行予定の学校については、今後も計 8 校で実施したい。課題に関しては、この制度で教職員、保護者への周知が当然必要である。また来年度の活用状況の検証をし、3 0 年度の本格実施に向けていきたい。

2 英語教科化への対応について小井戸学校教育課長説明

成果として、今年度、英語担当指導主事の配置ができた。それから英語教科化推進委員会を設置、A L T 会議を実施した。来年度であるが、推進計画を学習指導要領という形で来年度つくっていく。授業化の日数確保も含め、具体的な素案、内容について来年度中の策定を目指していく。3 2 年度の本格教科化へ向けて平成 3 0 年度からの先行実施を目指す。

3 幼保小中高大の連携推進について小井戸学校教育課長説明

幼保小中連携事業を実施した。小学校との交流事業、あるいは数学科の小中連携事業が実施された。大学との連携については、政策企画課との連携が必要であり、これについては、政策企画課からコメントがあるかと思う。これについては、一緒に協力し、来年度以降も続けていきたい。

4 地域とともにある学校づくり推進について小林生涯学習課長説明

成果としては、市内全小中学校で信州型コミュニティスクールの要件を満たした。すべての学校、地域が魅力ある学校づくりということを協力して醸成が図られた。取組状況については、重点目標のとおりである。今後の課題は、持続可能な体制を整備していくということが課題である。

5 これからの図書館のあり方検討について小林生涯学習課長説明

成果として、「第二次上田市図書館基本構想」策定に着手し、図書館協議会で検討、社会教育委員会に諮問した。課題として、図書館施設の配置やあり方、役割分担を含め施設整備について検討が必要である。

6 神川地区公民館の整備について竜野中央公民館長説明

成果については、神川地区住民の理解を得ながら、神川統合保育園と神川地区公民館等の整備に向けて、関係者と話し合いが進んだ。取組状況としては、平成 2 9 年 3 月議会で土地売買契約の議決予定がある。今後は、造成工事、建築工事、外構工事が進められ、共用開始は平成 3 0 年の 1 0 月を予定している。課題としては、保育園との合築のメリットを最大限発揮できるよう地域を含めた体制整備をしていきたい。

7 「健幸都市うえだ」実現に向けた取組について滝沢スポーツ推進課長説明

成果として、スポーツ推進委員だけでなく、レクリエーションサポートクラブやスポーツ教室でも「あたま・からだ元気体操」の普及啓発を行った。今後の取組としては、健康づく

りチャレンジポイント制度を市主催のスポーツ教室に適用する。

8 郷土の文化・歴史、偉人の業績等を知る機会の創出について浅野文化振興課長説明

成果としては歴史演劇を鑑賞することで郷土の文化や歴史を知る機会となった。今後の取組については、社会教育機関による講座や展覧会を継続して行う。また、ふるさと上田人物伝については、3月末までに刊行する予定である。

9 歴史文化基本構想の策定について浅野文化振興課長説明

成果としては、構想策定の基本データとなる文化財の調査を実施した。30年度までにこの策定事業を進める。また、継続して文化財等の調査を進める。課題は、この事業については、全庁的に取り組む必要がある。

10 市立美術館・サントミュージゼとの連携強化について浅野文化振興課長説明

様々な事業を実施した。取組状況として、芸術家学校派遣事業、文化財de文化祭、子ども文化講座、子ども文化祭などである。今後、市長部局で1本になるということで今後、各種事業に取り組んでいく。

○ 全委員 了承

(2) 学校教育関係寄附の状況（学校教育課）

○ 全委員 了承

(3) うえだ人権フェスティバルの報告について（生涯学習課）

○ 資料13により宮崎人権同和教育政策幹説明（要旨）

平成29年2月18日（土）から19日（日）に、丸子文化会館でうえだ人権フェスティバルが開催された。2日間の来場者は523人と前年度に比べ140人ほど増加した。今回の特徴としては、人権コンサートが開催された。「ピアノで語る音楽と愛」を演題に、上田市出身ピアニストの上原ひろ子さんをお招きし、丸子中央小学校の合唱クラブのみなさんとのコラボ演奏が披露された。

○ 全委員 了承

(4) 文化振興関係寄附の状況（文化振興課）

○ 全委員 了承

(5) 第16回上田子ども文化祭実施報告（文化振興課）

○ 資料15により浅野文化振興課長説明（要旨）

平成29年2月4日（土）、5日（日）に丸子文化会館セレスホールで開催された。来場者は、約900名であった。例年、子どもたちが主体的に取り組むような発表にするため、司会も子どもたちがやる。様々な団体の発表が見れて楽しかった、司会をさせてもらっていい経験になったという感想をいただいている。

○ 全委員 了承

(6) スポーツ関係市長表敬訪問者報告（スポーツ推進課）

○ 資料16により滝沢スポーツ推進課長説明（要旨）

2月24日（金）に上田千曲高等学校のソフトテニス班が、第42回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会に出場するため市長表敬訪問をされた。記念品として、スポーツドリンクを差し上げた。

○ 全委員 了承

(7) 優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）の受賞について（上野が丘公民館）

○ 資料18により倉澤上野が丘公民館長説明（要旨）

平成28年度第69回優良公民館表彰で上野が丘公民館が受賞した。地域住民の学習活動に大きく貢献し、事業内容・方法等に工夫をこらしている公民館である。受賞日は、平成29年3月1日（水）で文部科学省のほうでとり行われた。特色ある事業として、上野が丘夏休みわいわい塾、神科小学校学校支援（おたすけっ十有志隊）、えんびつ散歩講座などがある。

○ 全委員 了承

(8) 行事共催等申請状況について（学校教育課・生涯学習課・文化振興課・スポーツ推進課）

○ 全委員 了承

4 〈その他〉

- ・竜野中央公民館長より公民館だより説明
- ・小林生涯学習課長よりY A っH O ー！説明
- ・宮崎人権同和教育政策幹よりヒューマン上田説明

○ 全委員 了承

閉会